

教育研修講演のお知らせ

(日本整形外科学会・日本リウマチ財団・日本リハビリテーション医学会・日本手外科学会)

教育研修講演をP73の一覧表のとおり開催いたします。単位取得を希望される方は2Fホワイエの「教育研修講演単位受付」にてお申し込みください。学会参加登録がお済みでない方は受講できません。

※すべてのプログラムは単位のお申込み有無に関わらず、学会の参加登録を行うことで聴講いただけます。

単位を取得される方のみ、下記の各学会該当プログラムの単位をお申込み・ご購入ください。

なお、受講料の払い戻しはいたしませんのでご注意ください。

※単位のお申込みはお席の確保を約束するものではありません。

またランチョンセミナーにおいては単位のお申込みによりお弁当の確保を約束するものではありません。先着順となりますのでご了承ください。

1. 日本整形外科学会

本学会のプログラムの中で、一覧表に記載があるセッションは、日本整形外科学会教育研修単位が認定されています。

取得可能単位数は、13単位までです。1日ごとの上限はありません。2日間において取得可能な最大数となります。

1) 申込方法

受講申込書に必要事項をご記入のうえ、日本整形外科学会IC会員カードと受講料（1単位：1,000円）を添えて、セッション開始の20分前までに教育研修講演単位受付にてお申し込みください。

※お申込みの際は必ず日本整形外科学会IC会員カードをご持参ください。

※受講料の払戻しはいたしませんのでご注意ください。

2) 講演会場での手続き

セッション開始10分前から、セッション開始後10分までにIC会員カードを講演会場入口のカード読み取り機にかざして出席登録を行ってください。セッション開始後10分を過ぎた場合、受講申込みが完了していない場合、途中退場された場合には単位取得はできませんのでご注意ください。

3) 未専門医の方へ

申込方法は、専門医の方と同様です。研修手帳をお持ちの方も単位取得には日本整形外科学会IC会員カードが必要となりますので、必ずご持参ください。ICカードで単位を取得された際は、「研修手帳」の押印欄にご自身で「ホームページ参照」と記載してください。

4) 研修単位受講履歴の確認について

学会終了から1週間程度で日本整形外科学会ホームページ単位振替システムの取得単位確認画面で取得状況を確認できます。

受講された単位が規定単位数を超過した場合、もしくは同一時間帯での複数受講などがある場合は、手順に従って過誤データの訂正を行ってください。3カ月以内にご自身で訂正されなかった場合には一定のルールに従って、機械的に削除されますのでご注意ください。

2. 一般社団法人日本リウマチ学会

本学会への参加により、専門医単位（3単位）が認定されます（学会参加証またはそのコピーにより証明）。日本リウマチ学会事務局へ申請してください。

3. 公益財団法人日本リウマチ財団

本学会のプログラムの中で、一覧表の「他学会単位」の欄に“リウマチ財団”の表示があるセッションは、公益財団法人日本リウマチ財団の教育研修講演として単位が認められています。（リウマチ登録医／ケア看護師・薬剤師・理学療法士・作業療法士）

1) 申込方法

受講申込書に必要事項をご記入のうえ、受講料（1単位：1,000円）を添えてお申込みいただき、「単位取得証明書」をお受取りください。

※単位取得証明書へは氏名・勤務先をご記入のうえ、ご自身で日本リウマチ財団へご提出ください。

2) 取得可能上限数について

- ・登録医：4単位まで（1日2単位まで×2日間）
- ・リウマチケア専門職：6単位まで

4. 公益社団法人日本リハビリテーション医学会

本学会のプログラムの中で、一覧表の「他学会単位」の欄に“リハビリ”の表示があるセッションは、公益社団法人日本リハビリテーション医学会の単位付与対象の生涯教育研修会として認定されています。

- 日本リハビリテーション医学会認定臨床医：1講演10単位。
最大取得単位数は、会期中で20単位。（2講演分）
- 日本専門医機構認定リハビリテーション科専門医：1講演1単位。
最大取得単位数は、会期中で2単位。（2講演分）

申込方法

受講申込書に必要事項をご記入のうえ、受講料（1セッション：1,000円）を添えてお申し込みいただき、「受講証明書」をお受取りください。

※受講証明書は必要事項をご記入の上保管いただき、ご自身で日本リハビリテーション医学会へ提出してください。

5. 一般社団法人日本手外科学会

本学会のプログラムの中で、一覧表の「他学会単位」の欄に“手外科”の表示があるセッションは、一般社団法人日本手外科学会の教育研修講演として単位が認められています。

申込方法

受講申込書に必要事項をご記入のうえ、受講料（1単位：1,000円）を添えてお申し込みいただき、「受講証明書」をお受取りください（1単位）。

※受講証明書（受講者控え）はご自身で保管してください。

※講演会場でのセッション終了10分後までに会場前に備え付けの回収箱に受講証明書（日手会提出用）をご提出ください。

教育研修講演一覧

(日本整形外科学会・日本リウマチ財団・日本リハビリテーション医学会・日本手外科学会)

日時	会場	セッション名	演者名	演題名	単位 種別	必須 分野	他学会 単位	
10月21日 (金)	8:00~ 9:00	2	教育研修講演1	仲村 一郎	関節リウマチの手術・リハビリテーション療法	N,R	6,13	リウマチ財団 リハビリ
		3	教育研修講演3	浅井 秀司	RA観察研究のススメ -TBCレジストリーから見たこと-	N,R	1,6	リウマチ財団
		4	教育研修講演5	森谷 浩治	橈骨遠位端関節内骨折に対する単軸型掌側 ロッキングプレート固定の治療戦略	N	10	手外科
	9:10~ 10:10	2	教育研修講演2	中村 憲正	膝関節機能温存のための再生医療 -現状と展望-	N	12	リハビリ
		3	教育研修講演4	湊 泉	THA術前計画は必要? -ZedHip®の有用性-	N	11	
		4	教育研修講演6	橋本 淳	多職種連携によるリウマチのトータルマネジメント	N,R	6	リウマチ財団
	10:20~ 11:50	1	特別講演	田中 栄	リウマチ学の発展と整形リウマチ医の役割	N,R	6	リウマチ財団 リハビリ
				中島 康晴	整形外科リウマチ医の魅力 -手術的治療-			
	12:00~ 13:00	1	ランチョン セミナー1	山本 豪明	骨脆弱性症例にも応用できる安心安全な THA実現のための工夫	N,R	4,11	リハビリ
		2	ランチョン セミナー2	前澤 玲華	リウマチ内科医からみた乾癬性関節炎	N,R	1,6	リウマチ財団 リハビリ
				阿部 麻美	乾癬性関節炎の治療を考える ~経験を踏まえて~			
		3	ランチョン セミナー3	小嶋 俊久	関節リウマチ治療のこれから -さらなる向上を目指して-	N,R	6	リウマチ財団
		4	ランチョン セミナー4	平野 裕司	整形外科医が行う合併症を考慮した 関節リウマチ薬物治療マニュアル	N,R	6	リウマチ財団
	5	ランチョン セミナー5	原 良太	関節破壊の観点から考える関節リウマチ治療	N,R	6	リウマチ財団 リハビリ	
			岡野 匡志	高齢化社会のRAタイトコントロール戦略 ~画像的寛解と筋骨格系合併症の克服を目指して~				
	13:40~ 14:40	4	教育研修講演7	森田 智視	臨床研究のための医学統計のポイント ~基礎固めからRWD解析まで~	N	1	
	14:50~ 15:50	4	教育研修講演8	佐藤 卓	コンピュータ支援TKAの現状と進むべき方向 ~一般臨床医の立場から~	N	12	
	16:00~ 17:00	4	教育研修講演9	伊藤 聡	関節リウマチにおける分子標的治療薬選択の基準	N,R	1,6	リウマチ財団
	10月22日 (土)	8:30~ 9:30	4	教育研修講演11	坂井 孝司	人工股関節全置換手術 知っておきたい基礎知識	N	11
9:40~ 10:40		4	教育研修講演12	橋本 求	リウマチ診療と多施設コホート	N,R	1,6	リウマチ財団
10:50~ 11:50		4	教育研修講演13	内尾 祐司	変形性膝関節症診療ガイドライン策定について	N	12	リハビリ
12:00~ 13:00		2	ランチョン セミナー6	塚田 幸行	人工膝関節全置換術の患者満足度を高める工夫と そのエビデンス	N	12,13	リハビリ
		3	ランチョン セミナー7	瀬戸 洋平	関節超音波検査が導く関節炎診断	N,R	1,6	リウマチ財団
		4	ランチョン セミナー8	神戸 克明	長期のQOLを意識したRA治療戦略とゴリムマブの有用性	N,R	6	リウマチ財団 リハビリ
		5	ランチョン セミナー9	高橋 大介	テリパラチド製剤の臨床応用と最新の知見 -股関節外科医の視点から-	N,R	4,11	リウマチ財団 リハビリ
13:50~ 14:50		1	記念講演	山本 純己	わが国における関節リウマチマネジメントの歩みに学ぶ	N,R	6	リウマチ財団 リハビリ
15:00~ 16:00	1	教育研修講演10	桃原 茂樹	with and after COVID-19時代における RA個別化医療実現化のために整形外科医が果たす役割 ~Advancing rheumatology: Mission possible~	N,R	1,6	リウマチ財団	

【専門医取得単位について】 N:専門医単位 R:リウマチ単位

【必須14分野】

[1] 整形外科基礎科学 [2] 外傷性疾患 (スポーツ障害を含む) [3] 小児整形外科疾患 (先天異常, 骨系統疾患を含む, ただし外傷を除く)
 [4] 代謝性骨疾患 (骨粗鬆症を含む) [5] 骨・軟部腫瘍 [6] リウマチ性疾患, 感染症 [7] 脊椎・脊髄疾患 [8] 神経・筋疾患 (末梢神経麻痺を含む)
 [9] 肩甲帯・肩・肘関節疾患 [10] 手関節・手疾患 (外傷を含む) [11] 骨盤・股関節疾患 [12] 膝・足関節・足疾患
 [13] リハビリテーション (理学療法, 義肢装具を含む) [14-1] 医療安全 [14-2] 感染対策 [14-3] 医療倫理
 [14-4] その他の共通講習 [14-5] 医学全般にわたる講演会などで、14-1~14-4 に当てはまらないもの